

◇羽村市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正

子育て家庭への経済的負担の軽減を目的に、所得制限を撤廃する条例が提出され、可決しました。この助成制度拡充に伴い、乳児育成手当条例は、一定の経過措置を設け、廃止されました。

施行は、ともに平成十八年四月一日からになります。

の工事費や乳幼児医療費助成電算システム改修経費などが盛り込まれました。

◇平成十七年度羽村市

一般会計補正予算を可決

歳入歳出それぞれに、八千五百四万二千円を追加し、予算の総額をそれぞれ、二百十六億一千七百十萬九千円とする補正予算（第三号）を可決しました。

歳入では、平成十六年度決算の確定に伴い繰越金などが計上され、歳出では、羽村西小学校区に新たに建設する「西学童クラブ（仮称）」

◇教育委員会委員に印南圭子氏を任命

三期十二年にわたり羽村市の教育行政に尽力いただいた杉浦康枝氏の任期満了に伴い、後任に、青梅市内の各小学校の教諭、教頭、校長を歴任されてきた印南圭子氏を任命することに同意しました。

※平成十六年度決算審査関係については、十四ページから二十ページをご覧ください。

「悪質リフォーム商法」から高齢者等を守るための対策強化を求める意見書

議員提出議案
議案一件を可決し、意見書を提出しました。

を実施するよう強く要請する。

記

一 成年後見制度の普及、活用

①制度趣旨の理解を含めた周知徹底のための広報活動を強化し、成年後見申立て時の費用や後見人への報酬を助成する「成年後見制度利用支援事業」を拡充・周知すること。

②第三者後見人の人材を確保すること。

二 全国各地の窓口で気軽に法的サービスが受けられる「日本司法支援センター」（来秋スタート予定）において、高齢者等に対する出張相談などを積極的に実施すること。

認知症など判断能力の不十分な高齢者等を狙い、不要なりフォーム工事を契約させて法外な代金を請求・だまし取る「悪質リフォーム商法」が大きな社会問題になつてている。まずはあらゆる法律・制度を駆使し、関係機関が連携して悪質業者を摘発することと、再発防止への早急な取り組み強化が求められている。

政府は七月十三日関係六省庁課長会議において、当面の緊急対策として、悪質業者に対する行政処分や取り締まりの強化、関係業界に再発防止策を求めるなど多岐にわたる内容を決めた。そのうえで、成年後見制度をより利用しやすくなるための措置や、リフォーム工事に関する建設業法の見直しなども指摘されている。これらのことから政府に対し、「悪質リフォーム商法」の被害から守るために、早急に以下

※意見書は要旨を掲載しています。

内閣総理大臣、法務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、国家公安委員長
提出先

審査対象になった陳情は、各常任委員会に付託して慎重に審査されます。

表の○×は、本会議における各会派の、陳情に対する賛成・反対を示しています。

付託先	委員会の審査	本会議の結果	会派名						
			新	公	共	ク	ネ	21	民
総務	趣旨採択	趣旨採択	○	○	×	○	×	×	○

※会派名 新一新政会、公一公明党、共一日本共産党、ク一市民クラブ、ネ一市民ネットワーク「いきいき広場」、21一羽村 21、民一民主党、自一自民クラブ



平成十六年度 決算を審査

平成十六年度の決算認定は、九月九日の本会議において、「平成十六年度一般会計等決算審査特別委員会」を設置して審査することを決めました。

委員会は、議長、監査委員を除く十八人の委員で構成され、委員長に桑原寿委員、副委員長に市川英子委員を選出し、九月二十日、九月二十一日の二日間にわたり慎重に審議を行いました。

各会計について活発な質疑が行われ、一般会計、羽ヶ上土地区画整理事業会計、羽村駅西口土地区画整理事業会計の各決算に対しても賛否両方の意見がありました。八会計の決算はすべて認定すべきものと決定しました。

質問 平成十六年度は動物公園の入園者が少なかつたが、本年度はどういう状況か。

公園緑政課長 平成十六年度の入園者減は、天候不順が最大の原因と思われる。本年度は八月末で十万七千人ほどで、昨年度比十八・四%の増となっている。

質問 市税の収納率約九十八・六%は、多摩二十六市で何番目か。また市税滞納等整理特別対策の内容およびコストは。

市民部長、納税課長 現年分だけなら同率五位、滞納額越分を合せると、昨年同様、七位である。

市税滞納等整理特別対策は、

昨年十一・十二月に七日間、本年四・五月に六日間実施した。いずれも土日を利用し、十一・十二月は納税課のほか他の部署から十四人、四・五月は十六人を動員し

た。このほか、十一月に管理職五十二人を動員し市税等収納率向上特別対策を実施した。

コストについては、他部署からの動員は一日八時間の超過勤務手当を支給したが、管理職は勤務時間内の対応とし超過勤務とはしなかつたが、いずれにしても、税の公平性という観点から滞納整理はしなければならないと考えている。

質問 指定管理者制度の導入について、対象施設および日程の状況は。また、現在働いている職員はどうなるのか。

企画課長 既に、弓道場・農産物直売所・自然休暇村の三施設については、指定管理者制度を導入済またはその準備中である。

本年度は、現在公共的団体に管理委託している十二の施設およ

び直営で管理している三施設について検討した。その結果、直営で管理している三施設のうち、スイミングセンターと水上公園にコスト削減等を図るため早期導入を決定し、今回、条例案を提出した。他の十三施設については、「直営化」「当面直営としながら導入の方向で検討」「継続して検討」という三つの方向性に整理したところであり、日程については決定していない。

委託先の職員の待遇、配置転換等については、委託先の団体自らがこの問題も含めて考え、競争力を高めてほしいと考えている。

質問 情報セキュリティポリシー対策基準が策定された。これに関し、外部監査や脆弱性検査の結果、内部監査の有無、委託事業や指定管理者への対応等はどうなっているのか。

情報システム課長 情報セキュ

平成 16 年度会計別決算

(単位：千円)

会計名		予算現額	歳入決算額	収入率(%)	歳出決算額	執行率(%)	歳入歳出差引額
一般会計		21,138,026	21,234,233	100.5	20,864,696	98.7	369,537
特別会計	国民健康保険事業	4,339,528	4,345,741	100.1	4,270,551	98.4	75,190
	老人保健医療	2,975,086	3,025,682	101.7	2,942,030	98.9	83,652
	介護保険事業	1,722,383	1,721,810	100.0	1,662,375	96.5	59,435
	羽ヶ上土地区画整理事業	21,398	21,467	100.3	21,366	99.9	101
	羽村駅西口土地区画整理事業	538,411	538,580	100.0	535,921	99.5	2,659
	下水道会計	2,585,855	2,593,273	100.3	2,554,894	98.8	38,379
水道事業会計	収益的収入	1,126,006	1,125,954	100.0	-	-	収益的収支 89,555
	収益的支出	1,076,830	-	-	1,036,399	96.2	
	資本的収入	2,020	840	41.6	-	-	資本的収支 △361,347
	資本的支出	369,577	-	-	362,187	98.0	

リティ・ポリシーに基づく情報管理の仕組みの内、内部監査の部分が確立されておらず、今年度中には確立していきたいが、そうした段階で昨年度外部監査を受けた結果は「おむね良好」との評価だった。本年度も実施の予定である。

脆弱性の検査については、羽村市ではインターネットと接続しているシステムが住民基本台帳ネットワークとは別のため、今まででは地方自治情報センターで行っている検査の対象外で、あつたが、昨年度受けたところ大きな問題点はなかつた。

委託事業および指定管理者については、個人情報などの情報資産を取り扱う場合には情報セキュリティポリシーの対象になるので、今後、監査の方法等を検討していきたい。

市民生活安全課長 運賃収入は六百八十九万二千円を見込んだ。

質問 新規に児童虐待防止連絡協議会を立ち上げたが、その効果および今後の見通しは。

市民生活安全課長 予備車両は一台あるが、毎日安全に運行するため、また不測の事態に備え、どうしても待機が必要である。

車両をイベント時の交通手段として活用できないか。

通常の路線バスの料金体系に合わせた制度であり、均一の料金設定のところに導入するのは難しい。

支出は人件費二千三百三十七万五千円、燃料費百二十万八千円、修繕費二百六十六万九千円、諸経費八百六十一万九千円、および一般管理費・経費をあわせ三千五百九十三万三千円を見込んだ。

老人巡回バスに乗っていた人が皆、コミュニティバスへ移行したかは捉えていないが、有料に対する反対の声はほとんどない。シルバーパスについては、

社会福祉課長 羽村市の保護司の年齢構成は五十九歳から七十歳まで、平均年齢は六十七歳となつてゐる。保護司は法務局が委嘱しており、市は推薦する立場であるが、若い方も踏まえて人選したい意向はある。しかして時間的にフリーで在宅の若い方は少なく、どうしても退職された方が中心となる。この件に関しことは、保護司会ともども地域の情報収集に努めていきたい。

質問　保護司の活動の対象は、大半が若い人である。羽村市の保護司の年齢構成はどうか。また、若い保護司の確保についての考えは。

ワークの中心を担っていくものと思われる。昨年は二回開催し、立川児童相談所管内の状況等の報告や事例を基にした勉強を行った。本年度は児童虐待防止マニュアルの策定を考えている。

質問 企業活動支援員の導入や
企業ガイド製造業編CD-ROM
Mの作成配布による出荷額の増
などの効果は。

産業振興課長 具体的に企業活動支援員の働きやCD-ROMの効果でどの程度出荷額が伸びたのか、確認はできないが、平成十四年と平成十五年の比較では、出荷額は一千億円ほど伸びている。

質問 平成十五年度に比べ平成十六年度のごみの量がずいぶん減っているが、原因は。

生活環境課長 平成十四年度に戸別収集を開始し個人個人の責任が明確化されてから二年が経過したことから、ごみの分別が徹底され家庭系のごみが順調に減少してきたためと考えられる。

今後は事業系ごとの測量が課題であるため、食品リサイクル法により平成十八年度までに二
十%資源化しなければならない
企業へ向け、指導を行つてい
るところである。

用し少しづつ整備しているところである。併せて夜間開園の延長やイベントの開催、ダイレクトメールによる集客の呼びかけ等の努力をしているところである。

質問 道路補修の委託料は、当初予算よりも補正額のほうが大きい。あらかじめ当初予算に計上しないのか。

質問 街路照明の設置に対する考え方。

学校教育部参事 この交付金により、各学校ではサマーセカン

質問 特色ある学校づくり交付金導入による成果を具体的に挙げてもらいたい。また、評価や広報の方法は。

建設課長 市道は総延長で百五十九キロメートル以上あり、緊急性・危険性・交通事故の発生等への対応で、どうしても当初の見込みよりも補修箇所が多くなってしまう傾向にある。

限られた当初予算なので、緊急補修の必要箇所を計上している。

質問 あきる野市のムツゴロウ王国などでは、入園してからのアトラクションやおみやげ物が充実していて収益を上げている。羽村市動物公園でも工夫できなかいか。

建設部長、公園緑政課長 羽村市動物公園はムツゴロウ王国と性質が全然異なり、公共施設として安い入園料で子どもや家族連れに楽しんでもらい、情操教育にも役立ててもらいたいと考え

建設課長 市道は総延長で百五十九キロメートル以上あり、緊急性・危険性・交通事故の発生等への対応で、どうしても当初の見込みよりも補修箇所が多くなってしまう傾向にある。

限られた当初予算なので、緊急補修の必要箇所を計上している。

質問 あきる野市のムツゴロウ

王国などでは、入園してからアトラクションやおみやげ物が充実していて収益を上げている。羽村市動物公園でも工夫できな

建設部長、公園緑政課長 羽村

市動物公園はムツゴロウ王国と性質が全然異なり、公共施設として安い入園料で子どもや家族連れに楽しんでもらい、情操教育にも役立ててもらいたいと考え

り物の充実に
や貯留といった方法で対応を図ることとなる。

んて いる。

質問 街路照明の設置に対する考え方。
答へば、
関しては、人件費を考えると難しい面があるが、今後、指定管理者制度の導入と併せて検討していくべきだ。

管理課長 老朽化に伴う交換の際に、百ワットや八十ワットの小銀灯を、同程度の照度が得られる六十ワットの蛍光灯に切り替える等、電気料金の軽減を図っている。交換や設置については、要望があつた個所を含めて市内を回り、調べた個所について交通安全や防犯上の観点から精査し、優先順位を決めている。

質問 市の下水道はどの程度の
降雨に対処できるのか。

ドスケール、夏休み中における地域の方と一緒になったセカンドスクール、町内会の盆踊りへの子どもたちの参加、夏祭りへの参加、伝統文化の学習で華道や茶道、墨絵の体験、外国の方を招いての文化や遊びの交流などを行つた。全体的には地域と一体となつた教育活動をしており、地域からも、子どもたちが参加するようになつてにぎやかに

な二できたとの言葉をいたしまして
ている。これに伴い、学校内部
での教育活動も活性化している
と感じて いる。

成績はなかなか数字で表せないが、子どもたちが自分たちのふるさとを見直す契機となつていると考へている。

評価について、外音評価は大変重要であると認識しており、学校評議委員会などの中で校長が意見をいただいていると聞い